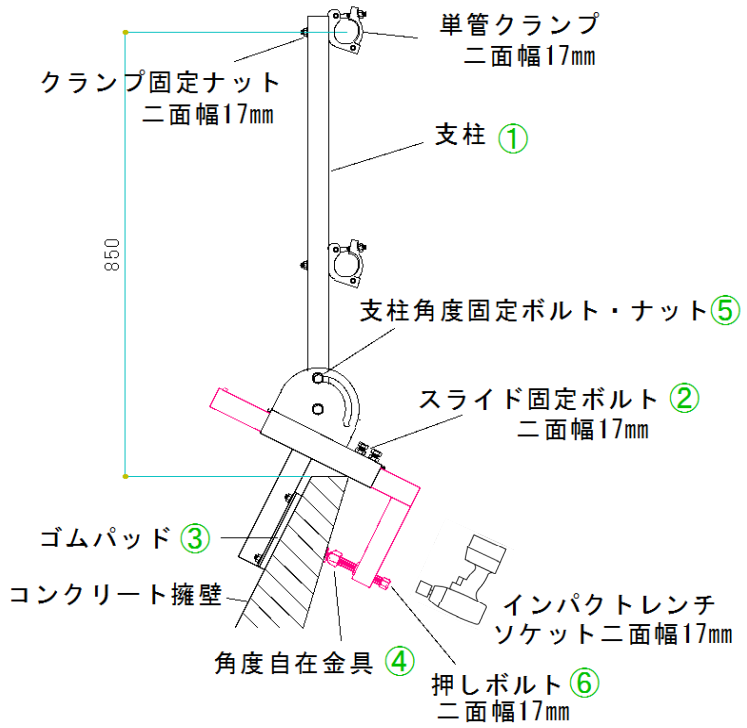
現場から墜落・転落災害を無くそう！　インパクトレンチ・ドライバ使用型

擁壁仮設手摺支柱　CW１型

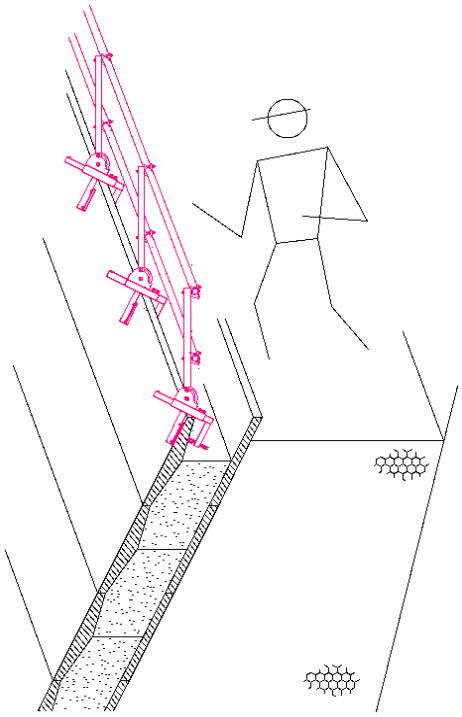
特許庁意匠登録１７９１４４５号

大型積みブロック擁壁工事用、単管手摺をクランプ支持する支柱

概要



設置状況



組　立　方　法

組立操作

ボルト・ナットの操作は、電動インパクトレンチ・ドライバ（ソケット二面幅17㎜）を用いる。

(1)収納時に折り畳まれていた支柱①を立ち上げ、支柱角度固定ボルト・ナット⑤で仮固定をしておく。

(2)準備として、押しボルト⑥を回転して（反時計回り)コンクリートのつかみ幅を適度に広げておく。

(3)スライド固定ボルト②を緩め、ゴムパッド③を擁壁表面に当てて角度自在金具④で挟んだ状態で仮設置し,スライド固定ボルト②を固定する。

(4)押しボルト⑥を操作（時計回り)して固定する。この時締め過ぎて破壊しないように注意する。

(5)最後に、支柱角度固定ボルト・ナット⑤を緩めて支柱支柱①を鉛直に立てて固定する。

特長

○擁壁への装着は、スライド固定ボルト②の固定と押しボルト⑥の締め付け、あとは支柱①を立てて固定するだけ、作業は擁壁の内側ででき、安全です。

○コンクリートつかみ厚さは、スライド固定ボルト②と押しボルト⑥のストロークにより40～200㎜の範囲で適応できる。特注も可能。

○ゴムパッド③と角度自在金具④で把持するので、水平、鉛直方向に傾斜した面にも対応する。

○インパクトレンチ・ドライバのソケットは、二面幅17㎜の一種類だけ、交換不要。

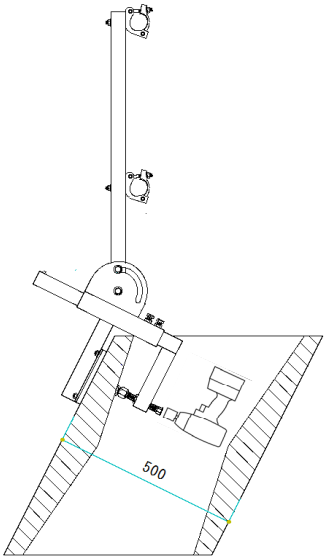
○擁壁の傾斜が例えば3分、4分、5分勾配であっても、傾斜に応じて支柱①を鉛直に調整できる。

○インパクトレンチ・ドライバを使用するので、大型積みブロックの控長が500㎜以上の場合は前面コンクリート部に装着、控長が350㎜のように薄い場合は後面の部分とします。

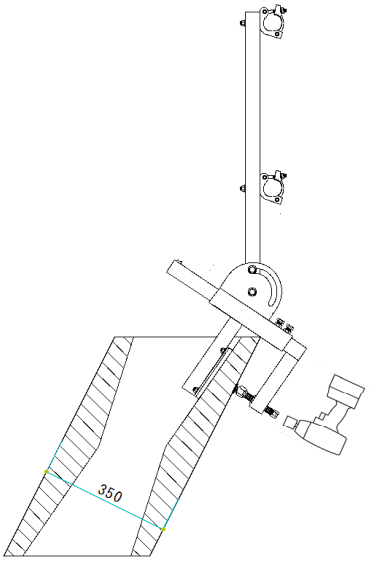
○本製品は特許庁意匠登録１７９１４４５号の意匠権を有する製品です。

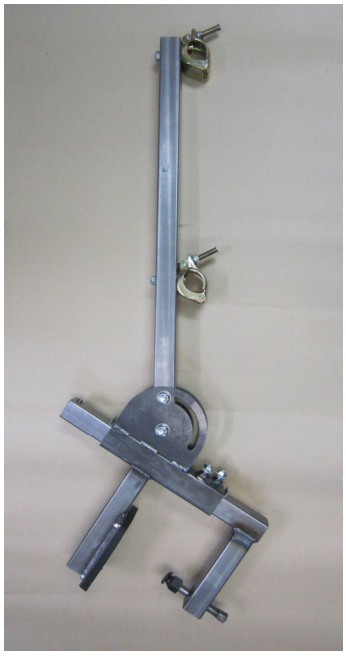
大型積みブロックへの対応

控長が500㎜以上の場合



控帳が350㎜の場合





電動インパクトレンチ・ドライバの
締め過ぎ注意！

推奨インパクトレンチ・ドライバ
12V～18V　M12普通ボルト締付用
最大トルク100～160N.m
締付時間　3秒以内

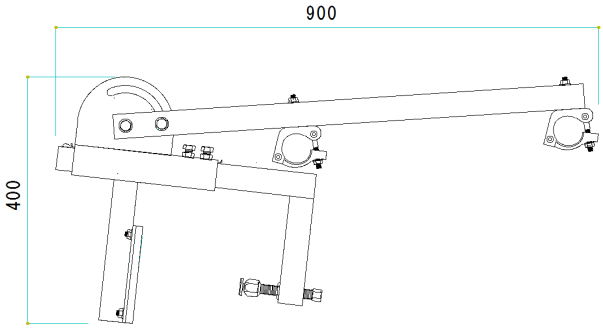
＊過度に強力な電動インパクトレンチ・ドライバを使用してねじ部を締め過ぎると構造部が破損する恐れが有ります。

2025.4.15

仕　様

擁壁仮設手摺支柱　CW1型仕様	
つかみ厚さ	40～200mm
手摺柱間隔	2000mm
材質	ＳＴＫＲ400　亜鉛鍍金仕上
パッド	ゴムマット12mm
重量	約9.2ｇ
組立スパナ	二面幅（対辺）17mm

収納時



＊価格、納期については販売店または製造元にお問い合わせください。

強度・構造等は（社）仮設工業会の「枠組足場用手すり枠の強度基準」及び「墜落防止設備等に関する技術」に準ずる。

※　仕様等は予告なく変更することが有ります。

販売店

製造元

有限会社　北野仮設
〒003-0021　札幌市白石区栄通13丁目7-21
TEL011-795-1262　FAX011-795-1298
E-mail：kitanokasetu@mild.ocn.ne.jp